

世界と日本のオーガニック食品を食べて、買って、知ろう！
ORGANIC FESTA in Tokyo 2006

LOHAS-WORLD SPRING 2006

結果報告書

会期: 2006年4月7(金)～9日(日)
晴海アイランド トリトンスクエア

主 催
オーガニックフェスタ実行委員会
LOHAS-WORLD 事務局

開催概要

イベント名称	第3回オーガニックフェスタ in Tokyo 2006
同時開催	第1回 LOHAS - WORLD 2006
期 間	4月7日(金) 11:00~19:00 くもり 4月8日(土) 11:00~19:00 晴れ一時雨 4月9日(日) 11:00~17:00 晴れ
	晴海アイランド トリトンスクエア グランドロビー 東京都中央区晴海1丁目8番16号 都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅下車4分 東京メトロ有楽町線、都営地下鉄大江戸線「月島」駅下車9分
入場料	無料
来場者数	28,000人 (昨年比:140%)
内 容	マルシェ広場:オーガニック食品の販売、試食・試飲、情報コーナー、ステージでの展開 LOHAS-WORLD2006:ロハス関連商品の販売、情報コーナー シンポジウム:日本のサステナビリティを考える~都市が支える農業への転換はLOHASとオーガニッ
主 催	オーガニックフェスタ実行委員会 TEL:03-6822-9067 FAX:03-5114-5088
	顧問 武部 勤 (衆議院議員、自由民主党幹事長、元農林水産大臣) 委員 宮腰 光寛 (衆議院議員・農林水産副大臣) 委員 段本 幸男 (参議院議員・元財務省政務官) 委員 後藤田 正純 (衆議院議員・内閣府大臣政務官) 委員 小山 裕久 (料理人) 委員 野々山 豊純 (Elle a Table編集長) 委員 ピーター・ピーダーセン ((株)イースクエア代表取締役) 委員 元橋 直彦 (ホテルプレジデント青山総支配人) 委員 平井 進 ((株)日本レストランエンタプライズ常務取締役) 委員 田村 安 (EUOFA代表理事)
事務局	オーガニックフェスタ運営事務局/LOHAS - WORLD事務局
後 援	農林水産省 環境省 厚生労働省 文部科学省 食品安全委員会 東京都 東京都中央区 イタリア大使館 オーストラリア大使館 ドイツ大使館 ベルギー大使館 モロッコ王国大使館 フランス大使館経済部 全国農業共同組合中央会 都市農山漁村交流活性化機構 社団法人 日本セルフ・サービス協会 エル・ア・テーブル編集部
協 賛	株式会社ナチュラルローソン 株式会社ニュートリション・アクト 株式会社日本レストランエンタプライズ
協 力	株式会社 晴海コーポレーション 晴海トリトン (住商アーバン開発 株式会社) 住友商事 株式会社 東京都中央区教育委員会 財団法人 日本生態系協会 ダンディンドン有限会社 永沢まこと(画家) 株式会社おもちゃ箱 株式会社インターフォーラムアソシエイツ マヴィ株式会社 有限会社 パンズ 株式会社 イーストグラフィクス 株式会社 ヒラツカリース 東洋相互警備保障株式会社 株式会社インテリアニシダ NPO法人にこにこKids アリサンオーガニックセンター ファームランドトレーディング株式会社 日仏貿易株式会社 ダーボン・オーガニック・ジャパン株式会社 ボランティアスタッフの皆さま

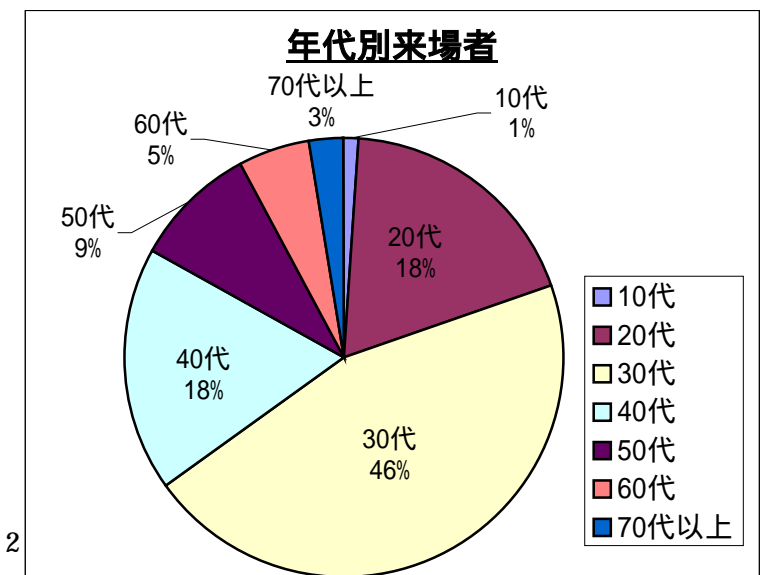
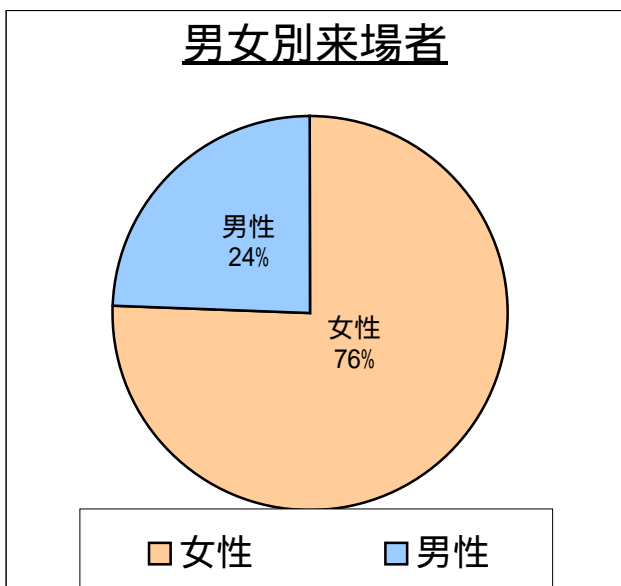
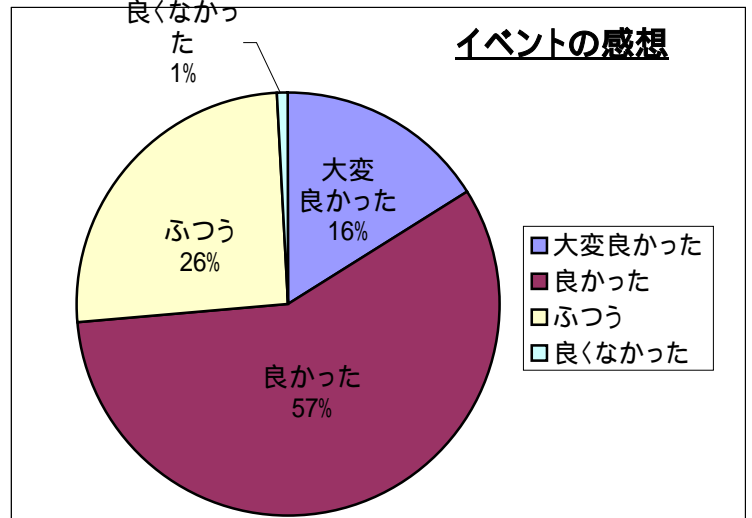
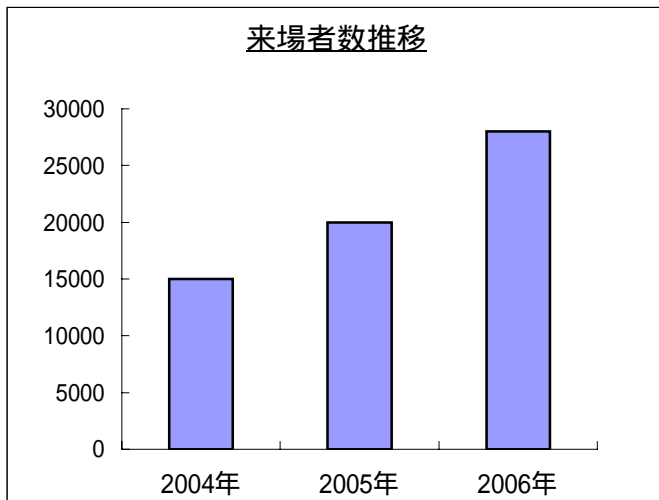
開催について

概況

第3回目にあたるオーガニックフェスタ in 東京 2006 は、今年が初めての開催となる LOHAS-WORLD SPRING 2006 との共同開催となった。昨年と同様、初日の朝は FM ラジオ J-WAVE のグッドモーニング東京の生中継から開始。会場がオフィスビル中央のロビーで、近隣の住民も通路として使用する場所ということもあるせいか、11時のオープンを待たずに既に10時頃から買い物客が出展者に声をかける場面が多数見られた。

既に3回目となった今年は、毎年の楽しみになっている来場者も見られ、出展者からもそのような嬉しい報告があった。このオーガニックフェスタの特徴はやはりマルシェ形式による消費者との直接コンタクトであるが、この点に非常に満足している出展者が多い。それだけではなく、大手メーカーの役員や流通関係者などプロフェッショナルの来場も少なからずあったようだ。取材もオープニングならびに2日目に実施されたシンポジウムを中心に数多くの方にお集まりいただいた。

来場者の特徴としては、アンケート集計を元に見ていくとやはり女性の関心が高い。特に30代女性が他を圧倒している。年齢別では20～40代で80%を超えた。健康志向が高いと考えられる50代以上の層は20%に満たなかった。その理由として考えられるのが、このイベントの告知がインターネットやメールを中心としたものであったこと、全国紙への大々的な広告などが行われなかったこと、チラシ等でも特に健康を謳ったものではないことなどが考えられる。むしろ環境や持続可能性(サステナビリティ)を前面に押し出したことで、若年層の関心を引く結果となった。10代の人数が少ないのは、アンケート回答者を15歳以上に限定し、子どもの回答をご遠慮願ったことによる。全国から公募した児童の絵を展示したこともあり、親子連れの来場者は非常に多かった。また来場者の満足度も高く、約4分の3の来場者が「大変良かった」「良かった」と回答している。



1. マルシェ広場

a) マルシェコーナー

<オーガニックフェスタゾーン>

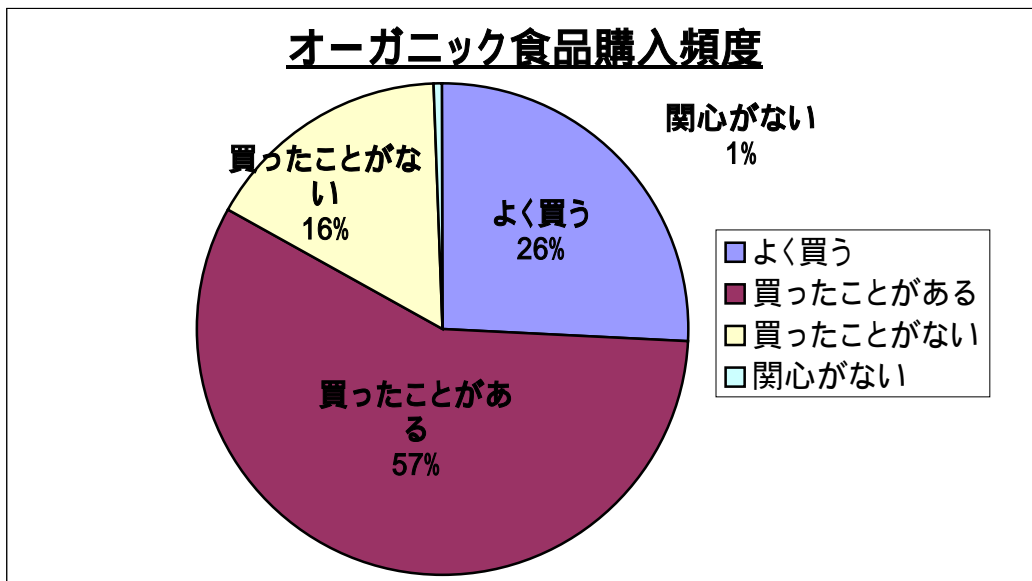
食品関係出展者 26、非食品関係出展社 5、展示出展 3 の計 34 出展者により開催。

3年連続出展のおなじみの企業から、今年初のニューフェイスまで、食材もスパイス、ハーブ、チョコレート、バナナ、コーヒー、アボガド、日本茶、紅茶、ビール、ワイン、日本酒、ケーキ、パン、ピクルス、はちみつ、冷凍野菜、スプレッド、ジャム、お惣菜、珍しいものではモロッコ原産のアルガンオイルなどバラエティに富んだ出展となった。



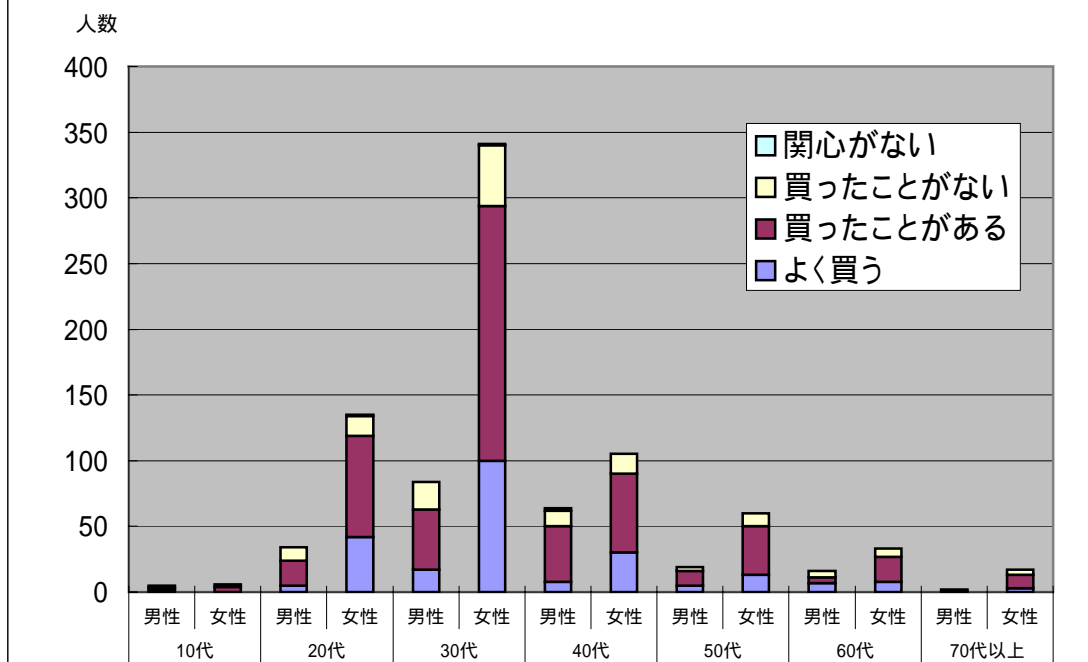
来場者アンケートでも良かった企画として一番たくさんの声がかかるのがこのマルシェで、「オーガニック商品がこのように一堂に会するといろいろわかって良い」「珍しいものがたくさん見られて良かった」「その場で試飲試食できるのが良い」など軒並み好評である。ただし一方でもっと規模が大きなものをも想像する来場者も少なからず存在し、「もっとたくさんの商品があると良い」「思ったより規模が小さかった」といった声も聞かれた。

来場者のオーガニック食品の購入頻度は、昨年とほぼ同じ結果となった。やはり来場者の大半は、既にオーガニック食品に関心をもつ人々であり、4分の1以上が頻繁にオーガニック食品を購入している。



上記を、男女別・年代別に見たのが下記のグラフである。概況でも触れたが、来場者の約半数を占めた30代、中でも女性が突出しているのがよくわかる。しかし各性別、年代別における購入頻度の割合にはあまり大差がないが、「よく買う」と回答している割合が高いのは30代、40代の女性である。

オーガニック食品購入頻度



<ロハスゾーン>

出展者数は 19 社。化粧品、家具、寝具、フェアトレード商品、衣料、タオル製品、有機物分解ロボット、光触媒、植物染料ファブリックなど、「健康で持続可能な生活を目指す」というライフスタイルを応援する数々の商品が出品された。

昨秋より雑誌や新聞等でも非常に目にするようになり、各地の百貨店のフェアなどでも「ロハス」の言葉が使用される頻度が高まっているため、ロハス商品を期待して集まった来場者も多かったと思われる。

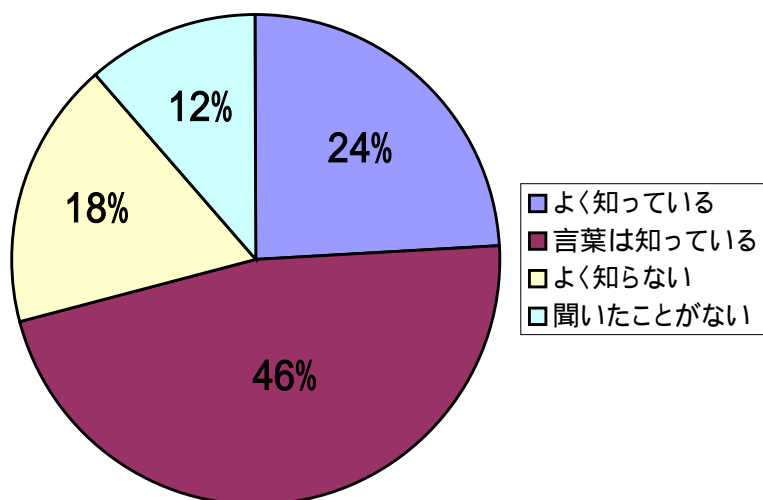


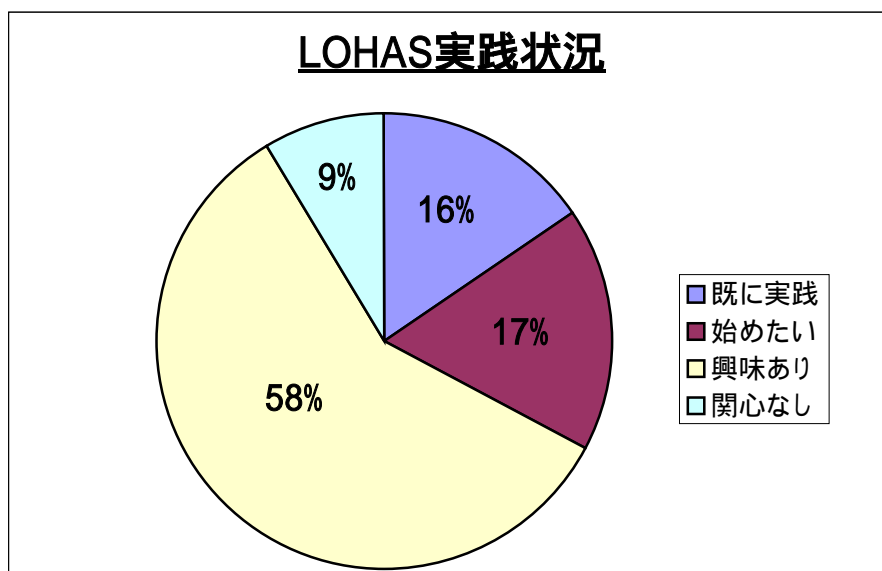
(株)タヌマ 環境に優しい家具の提案

来場者アンケートによれば、「ロハス」という言葉の認知度は、右グラフのとおり7割が「よく知っている」あるいは「言葉は知っている」と回答した。

生活への浸透度に関する質問については、「既に取り入れている人」「取り入れたいと考えている人」がそれぞれ20%弱、そして実に9割が関心を寄せている(上記の実践者、実践予備軍を含む:次ページグラフ)。

LOHAS認知度





b) 展示コーナー

出展者の水資源協会による「水」に関する展示をはじめ、運営事務局の「オーガニックの動向」に関する展示、LOHAS-WORLDによる「ロハスの動向」に関する展示とワークショップ、日本全国23道県から集まったグリーンツーリズム・エコツーリズムに関するパンフレットの設置、厚生労働省・農林水産省共同制作の食事バランスガイドの配布、全国の子どもたちから公募し、約500点が集まった「ぼくの私の好きな食べ物の絵」の展示と、会場内の各所でオーガニックやロハスにまつわる展示を行った。来場者にとっては、単にオーガニック食品を買い物するだけでなく、目で見て学んだり、実際に参加できたりするコーナーとしてにぎわっていた。



「ぼくの私の好きな食べ物の絵」
展示コーナー

c) ステージ



フランスのオーガニックワイン
生産者 JP カバニス氏（中央）
ワイン専門家ジェラルド・ポアソ
ー＝デシュアール氏（右）

今回、会場内ステージを拡張し、シンポジウムも含めすべてのステージイベントをこの開場なステージにて行った。トークショー、音楽、「ぼくの私の好きな食べ物の絵」表彰式、講座など、多岐にわたる内容のイベントを実施し、会場を盛り上げた。

トークショーでは、料理界を代表する小山裕久氏・石鍋裕氏、芸能人かつ農業ジャーナリストとして活躍する浜美枝さん、フランスでワインの専門家であるジェラルド・ポアソ＝デシュアール氏などにご協力いただき、このオーガニックフェスタという場にふさわしい楽しくもためになるお話を聞かせていただいた。

d) こどもひろば



こちらにも既に3回連続となったおなじみの企画。なかなか広い場所が取れず歯がゆい思いをするほど、多くの子どもたちが楽しんでくれている。提供いただいているダン・ディン・ドン有限会社様の意向により、ただ遊ぶだけでなく「はだしになること」「脱いだ靴はきちんと揃えてからひろばに入ること」「順番に仲良く遊ぶこと」などしつけの面も大切にしていることが特徴である。

こどもひろば
協力：ダン・ディン・ドン(有)

こちらのダンボール広場に加え、事務局が取り組んでいるのがオーガニックのポップコーンと綿あめで、協賛企業のご協力により本当においしいポップコーンとわたあめを非常に廉価で提供することができている。こちらにも連日盛況で親子ともに安心しておいしく、さらに楽しみもあるコーナーとなっている。

大人気のオーガニック綿あめ・ポップコーンコーナー
協力：アリサン・オーガニック・センター、ファームランドトレーディング㈱



2. シンポジウム

今回のシンポジウムのテーマは、「日本のサステナビリティを考える～都市が支える農業への転換は LOHAS とオーガニックから～」であった。全体を4つのセッションに分け、“LOHAS トレンドの本質”、“日本農業に夢はあるか～農の生きる道～”、“エコマネーとオーガニックファンド”、“明日への政策～都市が支える農業への転換～”というテーマでそれぞれ2～4人のパネリストに登場いただき、熱心な議論が展開された。

パネリストはそれぞれ各界を代表する専門家ばかりで、シンポジウム出席者の満足度は非常に高かった。セッションごとに用意した整理券も大多数の人が全セッション分を取っていかれる状況であった。また土曜日であったが、取材関係者の来場も数多く見られ、メディアの関心の高さもうかがえた。当日の様子は後日講演録として、発表予定である。



「日本の農業に夢はあるか」
段本幸男氏(右) 安田節子氏(中央)
左はコーディネーター有吉氏



「明日への政策」
右より、段本幸男氏、宮腰光寛農林水産副大臣、ツルネン・マルティ氏、田村安ファスタ室行委員会代表

マルシェ <グランドロビー> : オーガニックフェスタ出展者

No	出展者名	小間NO.	出展内容
1	株式会社ヴォークス・トレーディング	F-09	オーガニック スパイス、ハーブティー
2	有限会社オーガニックフォレスト	F-05-a	チョコレート、パスタ、オリーブオイルなど
3	ダーボン・オーガニック・ジャパン	F-23	JAS有機: パナナ、インスタントコーヒー、糖蜜、アボカドなど
4	自然のわ研究会(善光園・北川園)	F-24	有機茶、お茶クッキー
5	株式会社ヤッホー・ブルーイング	F-29	オーガニックビール
6	株式会社ウイズダム	F-27	オーガニック化粧品オイル
7	シフォンケーキ専門店シュワリ	F-05-b	シフォンケーキ
8	エンジェル工房	F-06	オーガニックパン
9	日仏貿易株式会社	F-31	イタリア食材、オーガニックジャム、ビスコッテ
10	株式会社ラティアクリエイツ	F-26	アルガンオイル(食用)
11	オーガニック&ナチュラルエンタープライズグループ	L-33	世界初のオーガニック認定スキンフード
12	アクセス21	F-25	作務衣(綿100%、草木染)と天然素材商品
13	マヴィ(株)	F-17	オーガニックワイン
14	JAPEXBIO	F-18	オーガニックワイン
15	Domaine Cabanis	F-19	オーガニックワイン
16	ファームランドトレーディング(株)	F-11,12	オーガニック アメリカ産・中国産冷凍野菜の試食と即売
17	(有)ハーブマルシェ	F-21	ハーブティー
18	Eco Service Muster-Bloy	F-20	ワイン、はちみつ
19	きょうされん 福祉工場エパーグリーン	F-16	アクアモック、ピアンコ
	きょうされん あじさい共同作業所	F-16	よもぎ湯、エコ商品ほか
	きょうされん すこやか作業所	F-15	
	きょうされん 三鷹ひまわり第二共同作業所	F-15	手作りクッキー、ケーキなど
20	株式会社 ニュートリション・アクト	F-28	アルガンオイル
21	株式会社自然農法販売協同機構	F-13,14	JAS有機農産物およびその有機加工品
22	株式会社おもちゃ箱	F-10	デメター認証商品
23	合資会社ダ・ヴィンチトレーディング	F-22	ドイツ産ブレッドスブレッド、ジャム
24	コンパニア・オルガニカ・コーヒー	F-01	オーガニックコーヒー・エスプレッソ・ラテ、レギュラーコーヒー、インスタントコーヒー
25	(有)香遊生活	F-30	ハーブティー、ハーブキャンディー、料理用ハーブほか
26	ホテルプレジデント青山 New Organic Dining Orto	F-32	おそうざい
27	株式会社オアシス	F-02	冷凍野菜ペースト、有機冷凍野菜
28	木戸泉酒造株式会社	F-04-a	清酒(自然農法産米が原料)
29	加藤貿易株式会社	F-04-b	沖縄原産オーガニックフーズ、ヘルスケアフード
30	事務局委託販売ブース(ビール、雑穀)	受付	ビール、日本酒、雑穀の販売
31	水資源協会		パネル展示
32	Gaia(がいあ)	F-03	有機野菜、果物、柑橘類ほか

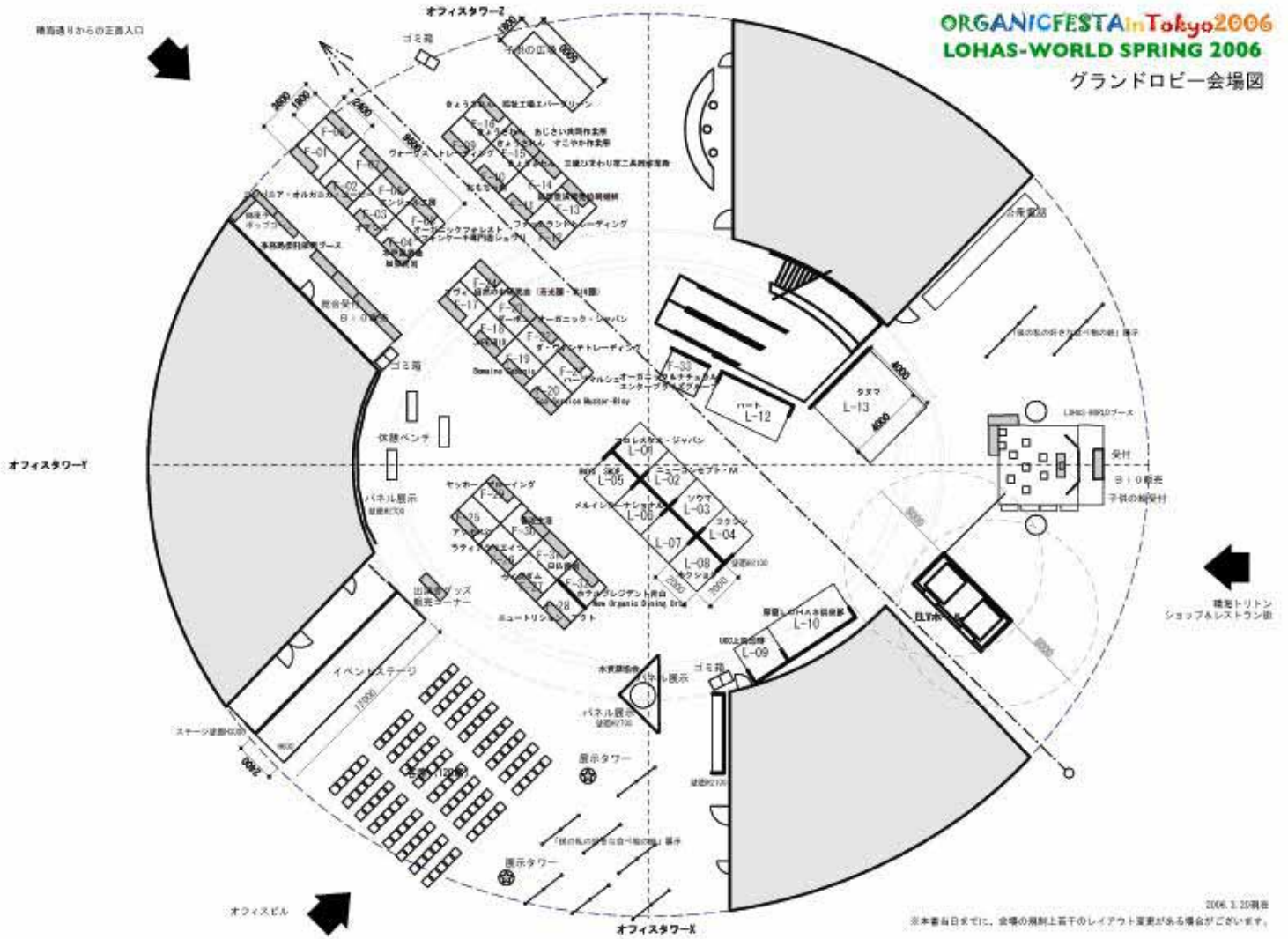
マルシェ <グランドロビー> : LOHAS-WORLD 出展者

32	株式会社フロレスタス・ジャパン	L-01	FSC(森林管理協議会)認証。ブラジル製のシャンプーコンディショナーシャワージェルボディ&フェイスケア及びアロマ関連含む化粧品。
33	株式会社ソウマ	L-03	光触媒による住環境へのコーティングシステム。
34	株式会社タヌマ	L-13	環境に優しい家具及び寝室の提案
35	UCC上島珈琲株式会社	L-09	レインフォレストアライアンス認証コーヒー
36	株式会社ハート	L-12	国際認証オーガニックコットン
37	株式会社フクシン	L-04	光触媒の提案
38	WAYS SHOP	L-05	オーガニック食品や無添加化粧品、フェアトレード雑貨など
39	株式会社ニューコンセプト・M	L-02	世界初有機物分解ロボ
40	メルインターナショナル	L-06	オーガニックのマグサを原料とした基礎化粧品
41	株式会社ホクシヨク	L-08	モンドセレクション(本部ベルギーブリュッセル)の第44回ワールドセレクショングランドゴールド受賞「黒ごまぼん酢ドレッシング」
42	菊水酒造	L-07	清酒、有機純米吟醸酒、ふなぐち菊水一番しぼり
43	原宿LOHAS倶楽部 (株)グリーンオーナ会議	L-10	花染、植物染等の、ウェア&ファブリックアイテム。
44	原宿LOHAS倶楽部 (有)シーエスピー	L-10	授乳服及びマタニティーウェアアイテム。
45	原宿LOHAS倶楽部 (株)第一紡績	L-10	タオル&インナーウェアアイテム。
46	原宿LOHAS倶楽部 丸三産業(株)	L-10	化粧綿、無農薬米アイテム。
47	原宿LOHAS倶楽部 (株)ポストアップ	L-10	自然素材及び花染の、ファッションウェアアイテム。
48	原宿LOHAS倶楽部 (株)益久染織研究所	L-10	手ずみ綿を使った、織や、染による帽子、タオルファブリックアイテム。

会場配置図

ORGANICFESTA in Tokyo 2006
LOHAS-WORLD SPRING 2006

グランドロビー会場図



ステージ<グランドロビー>

< 出演者一覧 >

実施日時	出演者名	演目	形式
4月7日(金)			
12:00-13:00	中川奈緒美 / 立川こしら / 森田哲朗	無農薬アーティストのユウキ Live!	ライブ
14:00-15:00	こばたてるみ	選んで食べよう! ~お母さんと子供たちのための食育セミナー	セミナー
15:30-16:30	銀座吉水 中川 誼美	日本女性のたしなみ ~衣食住~	トークショー
17:30-18:30	谷口 しのぶ	ハーブマルシェのオーガニックハーブ講座	講座
18:30-19:00	田村 安	オーガニックワイン講座<入門編>	講座
4月8日(土)			
11:00-11:30 15:30-16:00	吉田ナナ & 植木ゆり with リズム隊	リトルアーティスト ~みんなのだいすき!お届けします~	ライブ
12:00-15:00	下記に詳細	第3回オーガニックフェスタシンポジウム 『日本のサステナビリティを考える ~都市が支える農業への転換は LOHAS と オーガニックから~』	シンポジウム
16:30-17:30	浜 美枝	モロッコ・アルガンの森を守る女性たち	トークショー
18:00-19:00	Formalhaut (フォー マルハート)	ジャズライブ	ライブ
4月9日(日)			
12:30-13:00	審査員、受賞者	表彰式 「僕の私の好きな食べ物の絵」	表彰式
13:00-14:00	小山裕久、石鍋裕	グランシェフ・トークショー 和の小山裕久、フレンチの石鍋裕 "オーガニック"を語る	トークショー
14:15-15:15	ジェラルド・ボアソ ー=デシュアール、 ジャン=ポール・カ バニス 通訳: 矢倉瑞夏	ボアソー教授のパリの最新事情 ~関心の的はオーガニック~	講座
15:30-16:00	中川 奈緒美	ゴスペル、ジャズなど	ライブ
16:30-17:00	田村 安 / 秋元 一宏	主催者トークショー フィナーレ LOHAS とオーガニック ~ 持続可能なライフスタイル~	トークショー

シンポジウム

< 実施内容 >

Time	講演内容	講演者
12:00	開会挨拶 “オーガニックはライフスタイル”	田村 安 氏 (オーガニックフェスタ実行委員会代表)
12:20	セッション1 “LOHASトレンドの本質”	野々山 豊純氏 (ELLE a table 編集長) イデトシカズ氏 (アーティスト、いきいきロハスライフ! 主宰)
13:00	セッション2 “日本農業に夢はあるか～農の生きる道”	段本 幸男氏 (参議院議員・元財務省大臣政務官) 安田 節子氏 (食政策センター・ビジョン21 主宰)
13:40	セッション3 “エコマネーとオーガニックファンド”	筑紫 みずえ氏 (株)グッドバンカー 代表取締役社長) ピーター D ピーターセン (株)イースクエア 代表取締役)
14:20	セッション4 “明日への政策” ～都市が支える農業への転換～	宮腰 光寛氏 (衆議院議員・農林水産副大臣) 段本 幸男氏 (参議院議員・元財務省大臣政務官) ツルネン・マルテイ氏 (参議院議員・有機農業推進議員連盟事務局長) 田村 安 (オーガニックフェスタ実行委員会代表)
コーディネーター 金沢 玲美 (LOHAS WORLD 事務局) 有吉 ゆう子 (フリージャーナリスト)		

来場促進（メディア関係）

< 販促物 >

ポスター：A 2 フルカラー、5000 枚 晴海トリトン、各出展者、東京都庁、23 区の施設等で掲示
 フライヤー：A 4 フルカラー（裏面白黒）25000 枚 晴海トリトン、各出展者、ステージ出演者、関係者、東京都庁、23 区の施設、衆参両議員、都内自然食レストラン、料理教室ほかで配布

< パブリシティ >

内容	媒体名	発売日・放送日	号・種別	部数
フェスタ全般	日刊協同組合通信	2月23日	新聞	1万部
	日本農業新聞	2月28日	新聞	40万部
	晴海トリトン折込チラシ	3月1日	チラシ	6万部
	日経レストラン	3月1日	雑誌	2.4万部
	健康産業新聞	3月1日	新聞	
	春ぴあ	3月3日	ムック	15万部
	グルメキャリー	3月16日	74号	7万部
	ナナムイびと	3月20日	4号	
	フラワーラジオ（埼玉プラスネット）	3月27日 4月3日	ラジオ	
	東京ウォーカー	3月28日	雑誌	20万部
	朝日新聞 東京マリオン	3月29日	夕刊	230万部
	晴海トリトンスクエア4月のポスター	4月	ポスター	
	S E S A M E	4月1日	5月号	
	Vogue Nippon	4月3日～	WEB	
	日本農業新聞	4月3日	新聞	40万部
	The Japan Times	4月3日	新聞	
	ぴあスーパーチャンネル街遊びガイド	4月5日	携帯サイト	
	WEEKLY ぴあ	4月6日	雑誌	
	東京農業 web サイト		WEB	
	エル・ア・ターブル		WEB	
	ぼらんねっと		WEB	
	ウォーカープラス		WEB	
	日本農業新聞	4月8日	新聞	40万部
	日本農業新聞（シンポジウム）	4月9日	新聞	40万部
	月刊セレクト	4月15日	雑誌	2万部
	農経新聞	4月17日	新聞	5千部
	週刊 農林	4月25日	第1951号	
「ぼくのわたしの好きな食べ物の絵」公募	月刊公募ガイド	1月9日	1月号	
	朝日新聞 夕刊マリオン	1月25日	夕刊	230万部
	栄養と料理		雑誌	
	登竜門		WEB	
	にこにこ Kids		WEB	
	Kid s Challenge		季刊	

当方に知らせがこなかった関係で、ここに掲載していないものもある可能性は大。

当日取材（新聞、雑誌社多数）

4月7日（金）J-WAVE グッドモーニング東京（生中継）

4月7日（金）ガイアの夜明け（テレビ東京：5月30日放映予定）

4月9日（日）J-WAVE ロハスサンデー（電話出演）